

株式会社 高橋型精



代表取締役
高橋 光広

抜き加工のトータル
ソリューションを目指して

山形県
山形市蔵王松ヶ丘1-1-35

1943年(昭和18年)創業
Tel 023-695-3311

<http://www.t-keisei.com>

顧客の求める「抜き型」造りを自社独自の観点からとことん追及
その精度により大手電機メーカーの液晶テレビ等の液晶用フィルム加工にも採用。

止むことを知らない「顧客の要求」

これまで打ち抜き加工の主な対象は、パッケージ等に使用される紙材などであったが、最近
は液晶テレビやカーナビ、携帯電話に使用される光学フィルム、またタッチパネルに使用され
るポリカーボネイト、ペットフィルム等多様化しており、加工技術においても、より複雑な形
状対応、品質においても短納期、高精度化が求められてきている。

独自の技術で「顧客の要求」へ挑戦

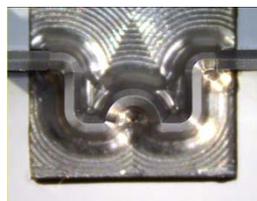
様々な顧客の要求に対して、低コストで短納期が可能な「トムソン刃」と複雑加工が可能な
「彫刻刃」を組み合わせた「彫刻トムソン型」や、型の合板中間層に樹脂を流し込むことで刃
を安定させ、高精度を実現する「レジンキャストダイ」など独自の技術を活かした「抜き型」
を多く開発し、3mm厚ポリカーボネイト抜き加工等の顧客要求に提案し続けている。



彫刻型



自動排出型



彫刻トムソン



レジンキャストダイ

「抜き型」を活かすために

「抜き型」自体は高精度であってもそれを
利用するプレス機本体が、長く使用した物ほど
平行度が不十分で最終的な製品の精度は保てない。
そんな課題を解決すべく当社では現在、高精度
かつ簡便に平行度を計測できる測定器を開発し、
プレス加工業者への測定・調整サービス事業
を開始、また測定器の販売も予定している。



平行度測定器